

第65期 中間報告書

証 券 コ ー ド : 2 8 7 5

2 0 1 2 年 4 月 1 日 ~ 2 0 1 2 年 9 月 3 0 日

おかげさまで大好評!! 「マルちゃん 正麺」
せい めん



Smiles for All.
すべては、笑顔のために。





代表取締役社長 **小畑 一雄**
おばた かずお

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社第65期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期の概況（連結）

当中間期におけるわが国経済は、欧州政府債務危機等による世界経済の減速や長期化する円高等により、先行きが依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

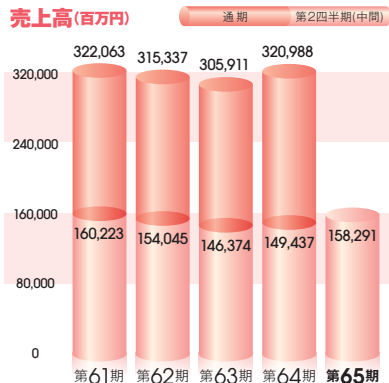
この結果、売上高は 158,291 百万円(前年同四半期比 5.9%増)、営業利益は 13,404 百万円(前年同四半期比 19.5%増)、経常利益は 14,034 百万円(前年同四半期比 19.7%増)、四半期純利益は 7,420 百万円(前年同四半期比 18.5%増)となりました。今後もお客様に信頼される商品・サービスの提供に努める所存であります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

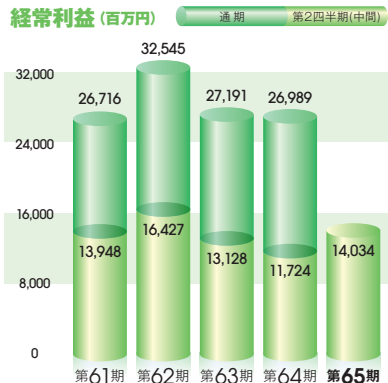
2012 年 12 月

連結決算ハイライト

売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)





国内即席麺事業



国内即席麺事業は、カップ麺は「赤いきつねうどん」や「緑のためぎ天そば」、「麺づくり」といった基幹ブランドが昨年の震災後の集中生産・販売の反動で減収となりました。一方で、袋麺は新たに塩味を発売した「マルちゃん正麺」の好調な売上げにより、大幅な増収となりました。その結果、売上高は49,273百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。セグメント利益は、販売促進費等の増加により4,021百万円(前年同四半期比9.6%減)となりました。

低温食品事業



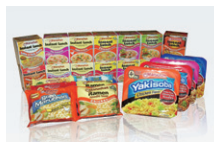
低温食品事業は、生麺は主力品の焼そば類、冷し中華類はほぼ前年並みの推移でしたが、3玉うどん類、ラーメン類は競合品との価格競争等の影響により減収となりました。新製品関係ではレンジ調理を提案した「麺道楽」、乾麺戻し製法のビーフン類等の商品を投入しましたが、生麺全体の売上減少を補えませんでした。冷凍食品類は、外食産業及び事業用給食向けの冷凍麺が伸張し、冷凍野菜類も好調に推移しました。その結果、売上高は32,488百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益は2,080百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

加工食品事業



加工食品事業は、米飯は前年に東日本大震災の影響を受けましたが、生産ラインが復旧したことにより増収となりました。スープ類は簡便・本物志向に対応した「7種の野菜を食べるスープ」シリーズのカップスープが堅調に推移しました。その結果、売上高は8,334百万円(前年同四半期比6.3%増)となりましたが、原料米等の原材料価格の高騰もあり、セグメント損失は26百万円(前年同四半期はセグメント利益237百万円)となりました。

海外即席麺事業



海外即席麺事業は、前年の第2四半期後半から第3四半期にかけて実施した値上げ効果と、その後引き続き行った積極的な販売活動により主に中米・南米を中心に販売数量が好調に推移した結果、売上高は28,512百万円(前年同四半期比12.2%増)となりました。セグメント利益は、一昨年から世界的なコモディティ価格の上昇の影響を受け、主原材料等のコストが増加しましたが、一部原材料価格が安定したこと、また、値上げ及び拡販の効果により5,759百万円(前年同四半期比110.4%増)となりました。

水産食品事業



水産食品事業は、海外においては欧州経済不安、中国経済不安等による需要の減退、国内においては円高・デフレ及び低調な水産物の消費マインド等で益々の競争激化となり、厳しい環境が続きました。このような状況の中、魚卵・マグロ・一般凍魚等を中心に開発・販売を積極的に行った結果、売上高は15,971百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。セグメント利益は、チリ産銀鮭を中心とした養殖鮭・鮭の市況の悪化、水産加工場の一部において改修工事を行ったことによる償却費等の経費の増加が利益を押し下げ、161百万円(前年同四半期比67.4%減)となりました。

冷蔵事業



冷蔵事業は、積極的に集荷活動を行ったことで、東日本大震災の影響により高い水準で推移した前年同様の入出庫量及び保管量となりました。その結果、売上高は7,614百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによる動力費の増加やコンピューターシステムの更新費用等の増加もありましたが、業務及び経費を見直し、コストを削減したことにより726百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。

その他事業

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は16,098百万円(前年同四半期比5.4%増)、セグメント利益は1,051百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成比





連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結会計期間 2012.9.30	前連結会計年度 2012.3.31
資産の部	流動資産	130,873
	現金及び預金	45,168
	受取手形及び売掛金	44,177
	繰延税金資産	1,765
	その他	40,263
	貸倒引当金	△503
	固定資産	120,351
	有形固定資産	101,248
	無形固定資産	2,077
	投資その他の資産	17,025
	資産合計	251,225
負債の部	流動負債	43,482
	固定負債	17,866
	負債合計	61,349
純資産の部	株主資本	196,781
	資本金	18,969
	資本剰余金	22,516
	利益剰余金	163,429
	自己株式	△8,133
	その他の包括利益累計額	△17,148
	その他有価証券評価差額金	617
	繰延ヘッジ損益	△48
	為替換算調整勘定	△17,717
	少数株主持分	10,242
	純資産合計	189,875
	負債純資産合計	251,225
		251,414

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2011.4.1～2011.9.30
売上高	158,291	149,437
売上原価	99,205	95,362
売上総利益	59,085	54,075
販売費及び一般管理費	45,680	42,858
営業利益	13,404	11,216
営業外収益	872	745
営業外費用	242	237
経常利益	14,034	11,724
特別利益	48	12
特別損失	1,148	743
税金等調整前四半期純利益	12,934	10,993
法人税、住民税及び事業税	5,416	4,479
法人税等調整額	△118	△51
少数株主損益調整前四半期純利益	7,636	6,565
少数株主利益	216	301
四半期純利益	7,420	6,264

連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2011.4.1～2011.9.30
少数株主損益調整前四半期純利益	7,636	6,565
その他の包括利益	△2,264	△2,954
四半期包括利益	5,372	3,611
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益	5,176	3,314
少数株主に係る四半期包括利益	195	296

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2011.4.1～2011.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,809	9,856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,502	△4,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,139	△2,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△741	△1,734
現金及び現金同等物の増減額	425	924
現金及び現金同等物の期首残高	39,402	55,952
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,828	56,916



大好評!!「マルちゃん正麺」

年間販売目標を2倍に引き上げる大ヒット!

東日本大震災により保存食としての利便性が見直され、即席袋麺の需要が膨みつつあった2011年11月に、当社は生の麺本来の味わいと即席麺の簡便性・保存性を合わせもつ『マルちゃん正麺』を発売しました。『マルちゃん正麺』は当初の年間販売目標だった1億食を発売約7ヵ月で達成し、予想を上回る需要に工場の生産ラインを増設する大ヒットとなりました。その後、年間販売目標を2億食に引き上げましたが、この目標も発売1周年と前後して達成しており、その勢いは止まる所を知りません。

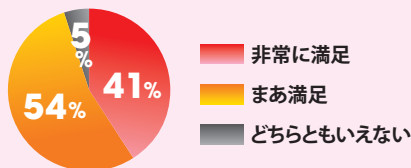


盛り上がる即席袋麺市場を牽引する『マルちゃん正麺』!

1970年代前半をピークに年々減少傾向にあった即席袋麺の生産量が、2011年度には17億7124万食に及び、4年ぶりに前年度実績を上回りました。この即席袋麺市場の盛り上がり仕掛け、牽引したのが『マルちゃん正麺』だったことから、業界関係者の間で『マルちゃんショック』と呼ばれるほどの多大なインパクトと影響を与えています。

『マルちゃん正麺』の、高い満足度!

『マルちゃん正麺』を食べて、どの程度満足されましたか?



『マルちゃん正麺』を購入して食べられた方の9割以上が、満足されています。

【調査概要】 東洋水産調べ インターネット調査
調査期間: 2012年3月 対象者: 全国・15~69歳 男女600名



大好評の
新フレーバー
「塩味」

あっさりしながらもコクがあり、鶏の旨みが広がる塩味が『マルちゃん正麺』シリーズに加わりました。即席麺の需要が落ちる8月の発売でしたが、予想を上回るご好評をいただき、ブランドの伸長に大きく貢献しています。

『マルちゃん正麺』人気のヒミツ

- ① 乾燥麺でありながら、生の麺本来の味が楽しめる。
- ② スープに合わせて麺の太さを変えている。
- ③ 鍋で調理しやすい、丸い麺の形。
- ④ 食べやすい麺の長さ。
- ⑤ 野菜に合う、風味豊かなスープ。



会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数

2,137人

事業所数

工場8、冷蔵庫14、

支店・営業所28

関係会社

31社(海外8社含む)

支店・営業所

- ◆北海道支店 (札幌営業所、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (名古屋営業所、金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (福岡営業所、沖縄営業所)

冷蔵庫

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| ◆札幌冷蔵庫 | ◆石狩冷蔵庫 | ◆大井埠頭冷蔵庫 | ◆平和島冷蔵庫 |
| ◆城南島冷蔵庫 | ◆東扇島第一冷蔵庫 | ◆東扇島第二冷蔵庫 | ◆東扇島第三冷蔵庫 |
| ◆名古屋冷蔵庫 | ◆中部物流センター | ◆神戸冷蔵庫 | ◆舞洲冷蔵庫 |
| ◆福岡冷蔵庫 | ◆佐賀冷蔵庫 | | |

役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役会長	堤	殷
代表取締役社長	小畑	一雄
専務取締役	吉野	廣治
常務取締役	手嶋	専市
常務取締役	近藤	英次
常務取締役	今村	将也
取締役	三浪	博行
取締役	菅原	謙二
取締役	下井	敦美
取締役	及川	雅晴
取締役	藤谷	忠
取締役	吉村	功
取締役	山本	和夫
取締役	市島	久夫
取締役	飯塚	修
取締役	住本	憲隆
取締役	沖	斉
取締役	豊田	勉
常勤監査役	山下	透
常勤監査役	南	守之
社外監査役	高良	明
社外監査役	森	勇

工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆三幸養魚株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豐調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社※ ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 ◆株式会社シマヤ ※持分法適用関連会社



株式の状況

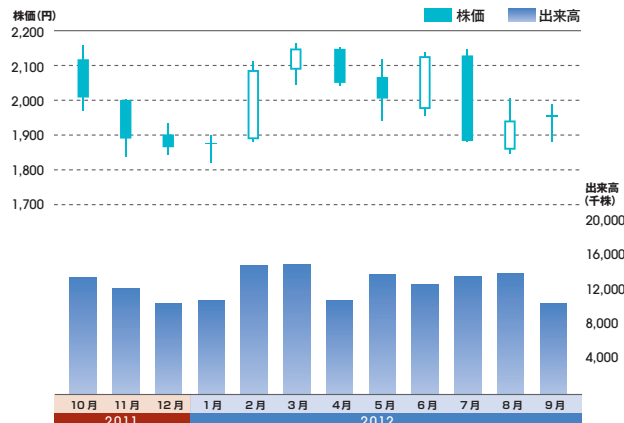
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
発行済株式の総数…………… 110,881,044 株
株主数…………… 6,017 名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	5,509	5.39
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	4,172	4.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,805	3.72
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,508	2.45
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	2,161	2.11
マルちゃん持株会	2,118	2.07
一般財団法人 東和食品研究振興会	2,067	2.02
ガバメントオブシンガポールインベストメント コーポレーションビーリミテッド	2,043	1.99
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエス タックスエグゼンブテッドベンションファンズ	1,977	1.93

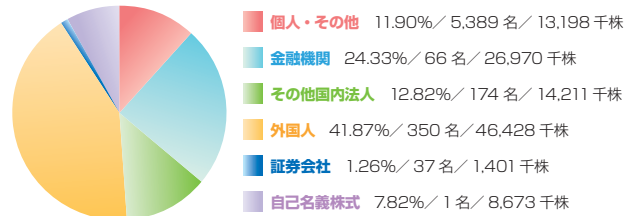
(注) 出資比率は自己株式(8,673,214株)を控除して計算しております。
(注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入して計算しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品を、それぞれ6月に進呈させていただきました。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取りいただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

社会活動への取り組み

柔道を通じた子どもたちの健全育成支援

・全日本柔道連盟を オフィシャルサプライヤーとして支援

東洋水産は、公益財団法人全日本柔道連盟が掲げる「柔道の普及および振興を図り、もって国民の心身の健全な発展に寄与する」という目的に賛同し、2012年4月よりオフィシャルサプライヤーとして、その活動を支援しています。これにより、日本柔道界の発展および柔道を通じた将来を担う子どもたちの健全育成に、より一層貢献してまいります。

・マルちゃん杯全日本少年柔道大会を開催



開会式の様子

2012年9月17日、東京武道館にて「マルちゃん杯全日本少年柔道大会」が開催されました。本大会は昨年まで「全日本選抜少年柔道大会」の大会名でしたが、全国7カ所で開催されている「マルちゃん杯少年柔道大会」の全国大会として、本年度より改称されました。およそ1,800チーム、12,000人が参加した地区大会を勝ち抜いた96チーム、約400人の男女の小・中学生たちが、フェアプレー精神の下、全国優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。